

第5回 学期制検討に関する懇談会（小田原市立小・中学校） 会議概要

- 1 日時 平成31年1月22日（火）15時00分～16時45分
- 2 場所 小田原市生涯学習センターけやき 2階 大会議室
- 3 出席者 石塚 等 堀 賢一郎 栗畑寿一郎 遠藤 清子
初瀬川孝夫 八木 規孝 岩田真由美 中村 栄江
本多 忠幸 寺内 浩司 上村 勝治
益田麻衣子 土谷 隆之
<教育委員会>
内田 里美 友部 誠人 飯田 義一 川口 博幸
石井美佐子 鈴木 一彦
<事務局>
高田 秀樹 大須賀 剛
- 4 配布資料
 - ・次第・レジュメ 名簿
 - ・第5回学期制検討に関する懇談会 開催要項
 - ・第4回懇談会…平成30年11月29日 会議概要
 - ・議題「保護者の意見を考慮した 児童生徒にとってよりよい『新たな学期制』のあり方と計画」
のための資料
 - 資料A 2020年度 新学習指導要領の完全実施に向けた対応や状況
 - 資料・2学期制 意見交換のための資料 … 2学期制を継続する場合
 - 資料・3学期制 意見交換のための資料 … 3学期制にもどす場合
- 5 傍聴者 1名

6 会議内容

1 開会	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会の公開について ・資料の確認 ・日程について
2 内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) 第4回懇談会の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回懇談会（前回・11月29日）会議概要 </div>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議概要をもって確認とさせていただきます。
進行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問・意見はあるか。→なし
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(2) 平成31年度教育委員会定例会における議決を見据えた今後の見通しについて</p> <p>① 議題 児童生徒にとってよりよい『新たな学期制』のあり方</p> <p>② 論点</p> </div>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の見通しについて説明。 ・ 平成31年度教育委員会定例会において審議する。懇談会としてのまとめを作成するが、学期制の決定をするものではない。まとめは、教育委員が判断するための参考資料となる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(3) 第5回調査部会からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員調査 … 「3学期制の経験」あり・なし ・ 教職員調査 … 年代別 ・ 学校評議員／学校運営協議会委員調査 …全般 について </div>
進行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局及び部会長より説明してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまりふれていない視点や項目について意見交換した。部会長より願います。
部会長（堀）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回調査部会にて、3点について意見交換した。 ・ 1つ目、中学校の教職員において、3学期制の経験ありの方の調査で、半数以上が3学期制にもどすことを支持していることについて分析した。3年生で成績を4回出すのであれば、3学期制の方がよいだろうという視点、以前は余裕があったという視点、1カ月以上の休みが学習の継続性を保てるのかという疑問などの理由から、回答したものと考えられる。 ・ 2つ目、年代別の結果については、今までの経験で身についたもの、しみ込んだものがよいという視点からの回答になっている捉えている。 ・ 3つ目、学校評議員についても自分の経験からの回答になっている。ただし、より学校の現状を理解している立場からの回答であると捉えている。その他、部会員で補足があればお願いしたい。
進行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補足はあるか→なし ・ 部会長の説明に対して何か意見はあるか。
益田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体にしみ込んだものという視点は保護者にも当てはまることである。

土谷	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の会合でこの話題を出したところ、年齢の上の方は3学期制との反応だったが、様々な説明をしたら納得していた。説明すれば理解してもらえる人が多い。
石塚	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校で実情が異なる。授業時数の関係や進路に関することをどう捉えていくかが課題になる。中学校の保護者はこまめに成績を出してほしいと思っている。
<p>(4) 第4回懇談会(11月29日)における意見交換の継続 「実態調査結果における保護者の意見*をどのように反映させていくか」 *夏季休業前に評価や成績がほしい(知りたい)等</p>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・(4)として「*夏季休業前に評価や成績がほしい」について意見交換したい。 ・(5)として「保護者の意見を考慮した 児童生徒にとってよりよい『新たな学期制』のあり方」を議題とし、これまでの意見ではあまり交わされてこなかった視点である「3学期制にもどす」という判断をした場合に、必要なことや条件等について意見交換したい。
進行	<ul style="list-style-type: none"> ・議題について意見はあるか→なし ・事務局から補足があればお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題は前回の継続だが、重複してもかまわないので意見を出してほしい。
進行	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換をお願いしたい。前回小学校の意見のみだったので中学校の意見はあるか。
栗畑	<ul style="list-style-type: none"> ・現任、前任校では長期休業前に成績を出していたため、保護者から3学期制にもどせという問い合わせは特になかった。この時期の成績の提示は、個々の生徒の学習課題の具体的な明示になる。ただし、この機会に全校で揃えて出すといった統一には反対である。学校に対しても、保護者の意見の具体的な数値による説明や根拠が必要である。
部会長(堀)	<ul style="list-style-type: none"> ・山王小で夏休み前に配付している資料を提示。テスト結果を入力すると集計されるソフトを利用している。 ・昨年度までは面談の内容は担任裁量としていた。学習面の課題を明らかにするため、共通なもので国語、算数の到達度が分かるものを配付した。家庭での課題を確認する材料となっている。
進行	<ul style="list-style-type: none"> ・山王小の全学年で配付したものか。
部会長(堀)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み前は保護者面談で全学年に配付している。冬休み前の面談でも配付しているが、希望制なので面談希望がない家庭には封筒に入れて配付している。
益田	<ul style="list-style-type: none"> ・すごく分かりやすくよいと思う。点数を入れれば先生の負担もないので、保護者も安心する。中学校でも夏休み前に成績が出ない学校がある。定期テスト結果

	<p>の分布についての配付が全くない学校もあり、塾に頼らざるを得ない保護者もいる。これを機会に、資料を出すことで学校と親が両輪となり協力して、長期休業を有意義にするために何らかの様式等を出していくことも必要。</p>
土谷	<ul style="list-style-type: none"> この方式を使っているのは山王小だけか。25校すぐに全てとはいかないまでも広がっていくとよい。
上村	<ul style="list-style-type: none"> この資料を作成する場合、どのくらい時間や負担があるのか実態を教えてください。
部会長（堀）	<ul style="list-style-type: none"> テスト1枚5分程度で採点としても入力はすぐにできる。職員で話し合った結果、このソフトが一番よいというものを採用している。入力の作業は成績処理の一部にもなる。業者のテストに付随されているシステムである。
石塚	<ul style="list-style-type: none"> テストの点数の入力は、この様式の有無に限らず、基礎データを揃えるためにも必要なことである。このように、負担なくかつ保護者に伝わるものがよい。ちなみに一番下のメモの活用はどのように行っているか。
部会長（堀）	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のメモ欄である。面談で保護者がメモをする際に使用する。
寺内	<ul style="list-style-type: none"> 酒匂小が教育相談（三者面談）で活用している資料を提示。学校全体で統一したものではなく、自分が担当した学年で使用したもの。見ていただき、指摘があれば意見をいただきたい。確認はしていないが、多くの担任が活用している。
進行	<ul style="list-style-type: none"> 担任が一人一人記入するものか。担任の負担は大きくならないか。
寺内	<ul style="list-style-type: none"> 子供が自分で書くものである。この資料を見ながら、3者が面談の中で課題を確認するために活用している。
八木	<ul style="list-style-type: none"> 久野小は統一したものはなし。子供のアンケートは様々なものがあり、振り返りも何らかの形で各担任はやっている。担任が見きれなかった部分に改めて気付かされることも多い。子供たちに書かせることについては、特に低学年は説明したり、時間をかけたりしているので、子供にも負担をかけたくない。教材のテストは学年ごとに選んでいるので、学校で統一するとすると業者が偏ることもある。
進行	<ul style="list-style-type: none"> 小学校は山王小だけが特別にやっており、比較的には酒匂小のように自己評価のようなものが主流と捉えてよいか。中学校はどうか。
本多	<ul style="list-style-type: none"> 中学校も自己評価を実施していた。少なくとも3年生は、夏季休業前に、成績を出し、さらに、自己評価、各教科のコメントなどをもとに面談を行っている。成績については、学校によって異なる。5教科だけを出すという学校もある。
益田	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価は大切だと思う。1, 2年生などは説明をきちんとしないと理解できない子供もいる。自分の子供を見ると自己評価として文章で振り返ることに苦労していた。保護者として自分の子供の振り返りを見るのは面白いが、それだけでは

	<p>不十分。先生の負担があまりない程度で客観的なものがあると安心する。</p>
土谷	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で工夫されていることを知り、先生方がいろいろと考えてくれていることが分かった。全ての保護者が納得するものはないと思う。早川小学校運営協議会にも参加している。たとえば、宿題の量についても意見は分かれる。アンケート自体も工夫が必要と感じた。
<p>(5) 議題 「保護者の意見を考慮した 児童生徒にとってよりよい『新たな学期制』のあり方と計画」</p> <p>① 2学期制を継続する場合 ② 3学期制に戻す場合</p>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料A、資料・2学期制、資料・3学期制について説明。 ・これまでの資料も活用し、意見を出してほしい。
部会長（堀）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業数の確保、定着したものを組み直す労力を考えなければいけない。今後、設置がされる空調設備を特別教室も含めて全部に設置することが必要条件になる。
栗畑	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期制に戻すスケジュールには、行事を検討し直すが必要になる。夏休みが短くなるのが危惧される。保護者の意見はもしかしたら早く学校に行ってくれと思っているかもしれない。勉強がしっかり分かるようにしてあげればよいと思っているのではないか。授業時間数確保が一番の課題だと思っている。
遠藤	<ul style="list-style-type: none"> ・35時間をどのように生み出すかが課題である。3学期制になると儀式的行事も増える。
初瀬川	<ul style="list-style-type: none"> ・子供にとってという視点では、どちらも変わらない。3学期制のよい部分を取り入れて各学校が運用している。子供は今は学期の切り替えて、行事から学習に集中する方向を切り替えている。子供たちは2学期制か3学期制かどうかではなく変えるか変えないかが影響がある。学校も変えることが負担になってくる。
岩田	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度の新学習指導要領実施に向けて、現場では様々な話し合いを進めている。そのような中、3学期制に戻すことも含めていくと忙しくなる。このことは決して子供にとってもよいことにはつながらない。3学期制にし、夏季休業前の教育相談がなくなり、通知票を渡すだけになると、顔を突き合わせた話がなくなることを危惧している。
八木	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時数がどれくらい変わるかと考えたが、それほど大きく変わらない。削れるものは削ってきている。12月末まで1月につなげるために授業を充実させている。2学期制にしたことにより、一つ一つの内容が充実する。 ・2年生でも6時間授業を入れていかないと確保できない状況も予想される。市として対応を考えていかないと確保できない状況になっている。
中村	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちは学期制を意識していない。3学期制に戻す場合、3年間取り組んでいくが、生徒にとって3年間はあつという間である。この間に中学校生活を送る生

	<p>徒のことを考えると心が痛む。</p>
本多	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期制に戻す場合に7月に通知表の確認作業をすることが心配である。そのため時間を確保するために、夏休み前の面談はなくすことにはしたくない。
上村	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究の時間がない。作業時間を削減した分、教材研究にあてられれば子供のためになっていく。
寺内	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動や委員会活動等の特別活動の時間を減らすことも検討している。学校行事の精選や縮小も検討しており、3学期制に戻すことと作業が重複することは避けたい。
益田	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期制を知らない子供たちの影響を考えたい。子供一人一人に対応できていない状況もある中、先生がさらに忙しくなることが子供によいことにならない。 ・保護者がきちんと勉強して、学校の変化を理解した上で、学校とともに子供を育てていかなければいけないと思う。自分は教育相談の意図を本会の参加で知った部分もあるので、学校はもっと保護者に説明していく必要がある。
土谷	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期制に戻すための準備をする3年間の混乱は子供にとってよくない。行事等がなくなっていくのは保護者としても悲しいと感じる。授業だけではなく、行事も子供にとって必要な時間だと思っている。
石塚	<ul style="list-style-type: none"> ・たたき台の比較する資料をつくったことにより、論点が明確になった。その中で感想を述べたい。 ・2020年度に向けて、35時間を生み出すために各学校で工夫をしているが、そこに2022年度の3学期制に向けて新たな作業が生じてくることは大きな負担になる。 ・2学期制を継続する場合について、学期制は成績評価の区切りとした面があった。アンケートでの回答での傾向と実際に保護者が思っていることと比較するとそれほど影響がないのではないかと思う。山王小の取組は、評価の資料をまとめるためにある期間の切れ目で通常行っている作業の一つ。学校や教員の負担にならない程度に保護者の意見をふまえた資料を提供していくことも重要になる。 ・新学習指導要領では、評価の3観点がうたわれていて、この対応や円滑な実施も教員の負担のひとつとなる。教材研究は授業改善のために必要なこと、また、今後、評価の方法も変わってくるので、学校の負担にならないように円滑に新しい指導要領に移行できるようにしていきたい。通知表検討会でも教師の負担がないように検討してほしい。
進行	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の懇談会は、具体的な資料をもとに具体的な意見交換ができた。
3 今後の日程 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会にて経過報告を行う。来年度の学期制の審議を行うために、教育委員から新たな視点での懇談の議題が示される可能性もある。状況によっては臨時に調査部会を設定する可能性もある。

進行 4 閉会	<ul style="list-style-type: none">・市議会への経過報告は2月下旬を予定。・教育委員会定例会の経過報告により、事務局からの連絡があった場合にはご協力いただきたい。
----------------	--